



AMX-62 二重織のブランケット

デザイナー / ハマナカ企画

2019 A/W
(1-2)

●使用織り機…オリヴィエ〈織美絵〉リラ40

●使用糸

使用糸 〈リッチモア手あみ糸〉	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
セネシオ	No.3	㊸(黄青系)	3.7玉
アルパカレジェーロ	No.1	㊹(白)	1.7玉

●使用ヘドル…30羽が2枚 (60本/10cm)

●用意するもの…ピックアップ用のシャトル (長さ46cm) 2本

●ヨコ糸密度…25.5段/10cm

●織り上がり寸法…長さ143cm、幅60cm(フサの長さ含まず)

●作り方

❶タテ糸を配色どおり張る。

タテ糸の本数…㊸102本、㊹102本 (合計204本)

ヘドル通し幅…34cm

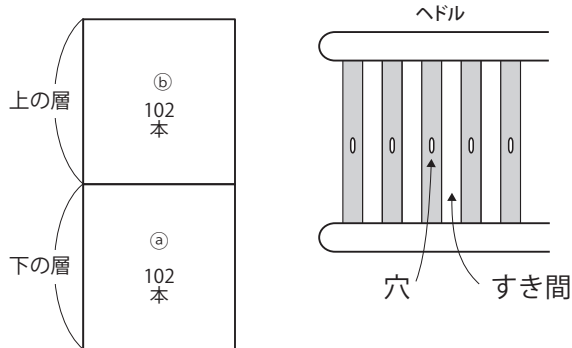
タテ糸の長さ…227cm

①まずヘドルAにタテ糸を通す。

②バックローラーにタテ糸を巻きとる。

③図③のようにヘドルAの手前にヘドルBを置き、タテ糸を通す。

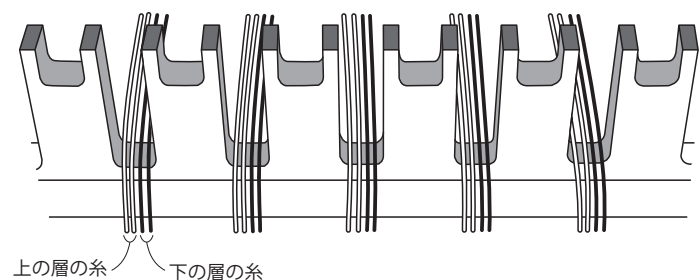
〈タテ糸配色〉



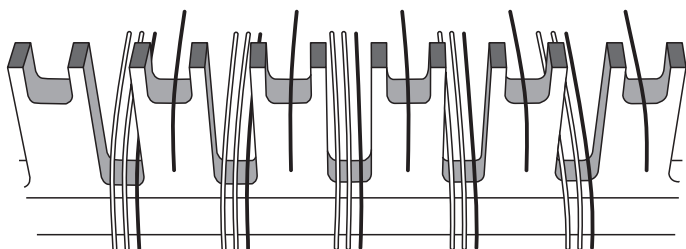
〈ヘドルAの通し方〉

❶タテ糸配色を㊸㊹の糸を引き揃えてヘドルのすき間に各色2本 (合計4本) ずつ通す。

通し終わったらバックローラーにタテ糸を巻き取る。



❷すき間に通った4本のうち、下の層の糸1本を右隣の穴に移す。



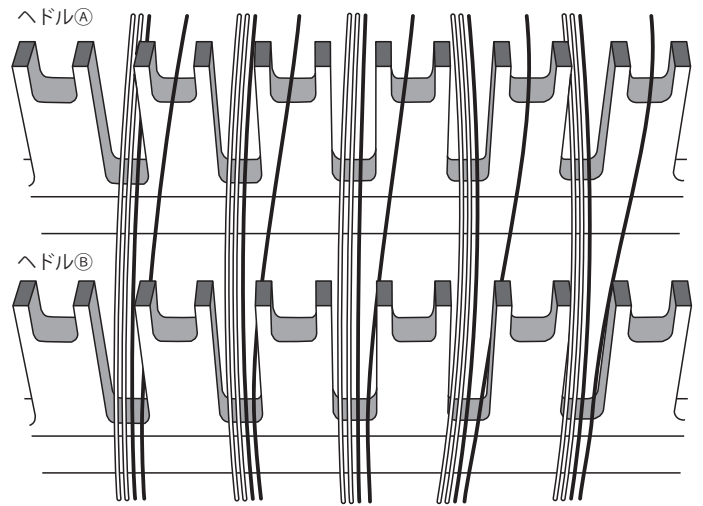
表記の寸法は織り上がり寸法です。

織っている最中は、糸が引っ張られた状態です。
織り機からはずすと約10%織り地が縮みます。

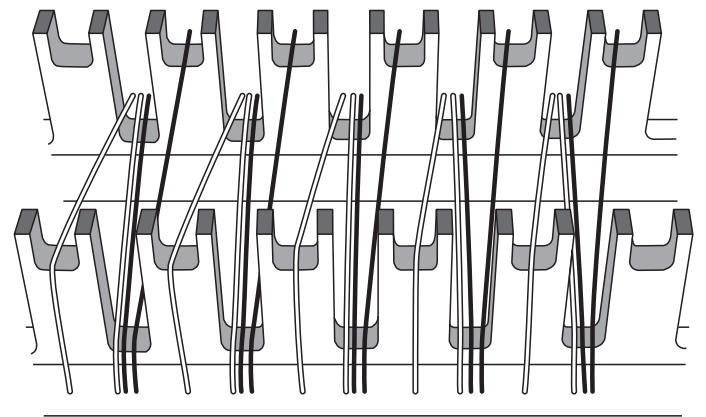
織るときは縮み分を考慮し、
打ち込みの力加減と織る長さを調整しましょう。
※縮み分は糸の種類や模様によって変わります。

〈ヘドルBの通し方〉

❸ヘドルAの手前側にヘドルBを置く。❶ですき間に通した4本をまとめてヘドルBのすき間に通す。



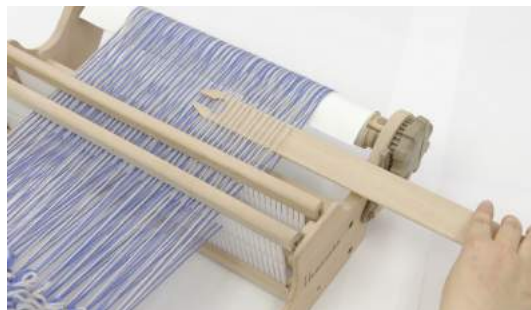
❹すき間に通った4本のうち、上の層の糸1本を左隣の穴へ移す。



❺たて糸の端をフロントスティックに結び終わったら、写真を参照し、ヘドルの後ろ側にピックアップスティックAとピックアップスティックBを通す。

〈ピックアップスティックの通し方〉

- ①両方のヘドルをダウンポジションに置き、ヘドルの後ろ側で上になっている白い糸（この作品の場合は⑥の糸）を全てピックアップし、シャトルを通す。（ピックアップスティックA）



- ②両方のヘドルをアップポジションに置き、ピックアップスティックAを後ろ側へずらし、そうしてできた下の糸（この作品の場合は③）の間にシャトルを通す（ピックアップスティックB）。ピックアップスティックA・Bは両方ともバックローラーの方へ寄せておく。



- ②ヨコ糸を配色どおり織る。 AMX-62
よこ糸のシャトルは右側から入れる。 (2-2)
※織るときは手前側のヘドルを手前に引き寄せる。

〈ヘドルの動かし方〉

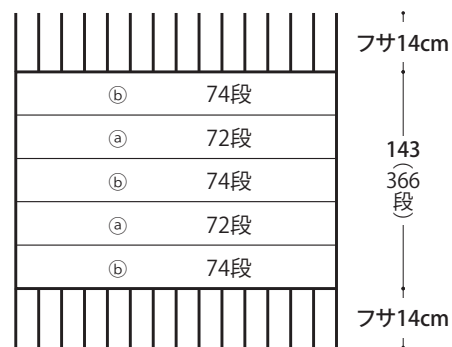
- ①ヘドル(A)：レストポジション
ヘドル(B)：レストポジション
ピックアップスティックAを手前にずらして立て、1段織る。ピックアップスティックAを元の位置に戻す。
- ②ヘドル(A)：レストポジション
ヘドル(B)：レストポジション
ピックアップスティックBを手前にずらして立て、1段織る。ピックアップスティックBを元の位置に戻す。
- ③ヘドル(A)：ダウンポジション
ヘドル(B)：レストポジション
1段織る。
- ④ヘドル(A)：レストポジション
ヘドル(B)：アップポジション
1段織る。

①～④の動きをくり返す

※下の層で糸を引っかけないように注意します。

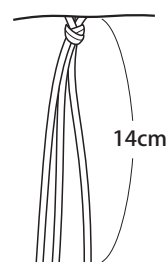
片端は2枚に分かれ、反対側の端はつながった状態になります。（この場合は左側がつながった状態）

〈ヨコ糸配色〉



- ③フサは3本1組で巻き結びし、14cm丈に切り揃える。

〈巻き結び〉



- ④仕上げにスチームアイロンをあてる。